

学校デジタル図書館は、 学校司書が肝です

一般社団法人 日本電子出版協会
電子図書館委員長 三瓶 徹

デジタル時代に学校図書館をどう変えますか？

これからのお話は、主に政府、自治体、小中学校、教育委員会向けになります。

高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(平成十二年)の後継法、デジタル社会形成基本法が5月12日に成立しました。

20年間進まなかった旧法を改善した。教育及び学習の振興に関し政府が迅速かつ重点的に講ずべき施策が重点計画に入っています。

そして7月の文部科学省の「新時代の学校施設」中間報告案では、1人1台端末環境に対応したゆとりのある教室や、読書・学習・情報の中心となる学校図書館「ラーニング・コモンズ」の整備を提案していますね。施設という箱を用意するには、その中身も議論しないと現場が困りますよね。

学校図書館の現場の方々、「読書は紙でするもの」紙の本を充実させたいという声は大きいですが、紙も、電子もという世界は難しいのでしょうか。

まさか教科書がデジタルになったのに学校図書館は紙のままで良いとお考えではないと思います。

学校図書館関係の地方財政措置

各自治体

公共事業等

図書 新聞 学校司書

各自治体の予算に上乗せした地方交付税措置で推進しようとしても、一般財源となるため、いつまで経っても基準が満たされない。

小規模校と大規模校で、 読める冊数に大きな差

学校図書館図書標準

文部科学省

ア 小学校

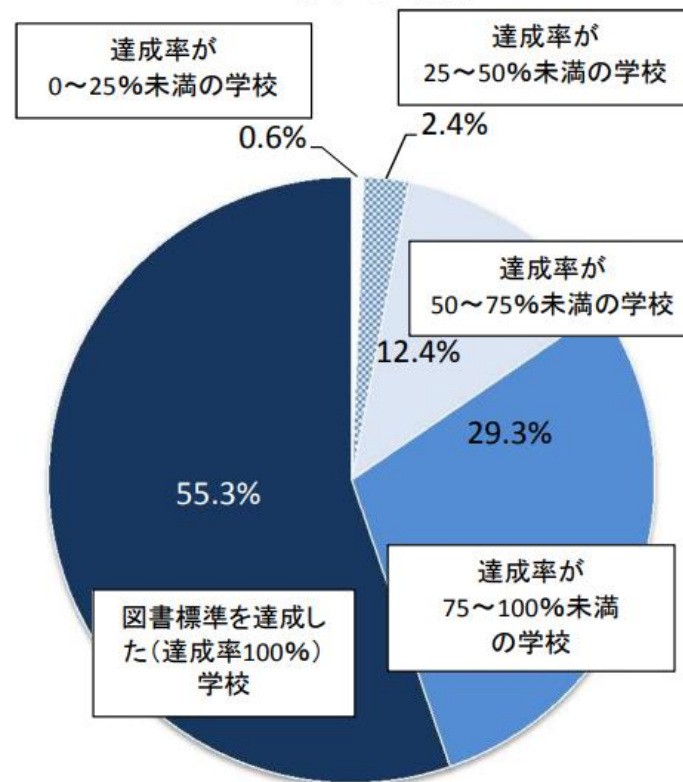
学級数	蔵書冊数
1	2,400
2	3,000
3~6	$3,000 + 520 \times (\text{学級数} - 2)$
7~12	$5,080 + 480 \times (\text{学級数} - 6)$
13~18	$7,960 + 400 \times (\text{学級数} - 12)$
19~30	$10,360 + 200 \times (\text{学級数} - 18)$
31~	$12,760 + 120 \times (\text{学級数} - 30)$

イ 中学校

学級数	蔵書冊数
1~2	4,800
3~6	$4,800 + 640 \times (\text{学級数} - 2)$
7~12	$7,360 + 560 \times (\text{学級数} - 6)$
13~18	$10,720 + 480 \times (\text{学級数} - 12)$
19~30	$13,600 + 320 \times (\text{学級数} - 18)$
31~	$17,440 + 160 \times (\text{学級数} - 30)$

教科書がデジタル化しても、
参照したい学校図書館にある
図書資料は紙のまま

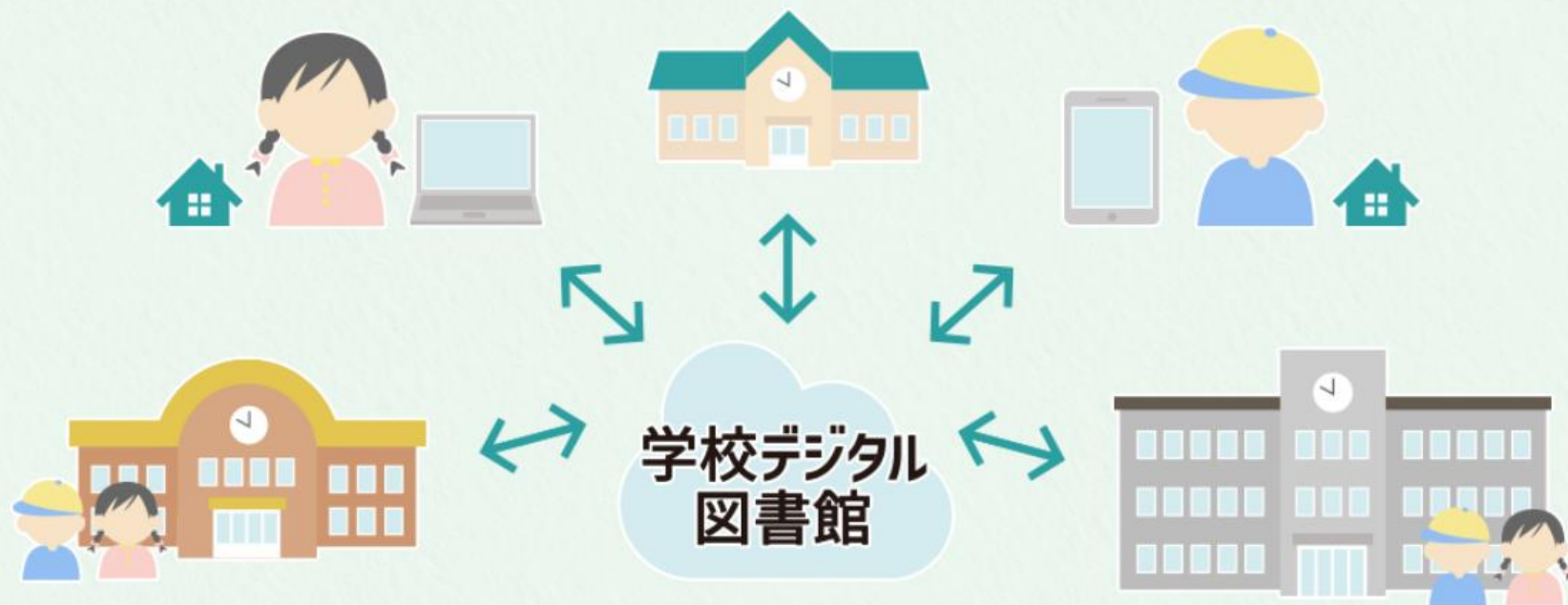
【中学校】



学校図書館図書標準の達成状況

学校デジタル図書館とは？

About



国がクラウド上に作る唯一の小中学校向けのデジタル図書館です。

ここがポイント！

- 自治体の教育委員会まかせではなく、すなわち地方交付税措置ではなく、利用料は、全額、国の負担とし、文科省自身が直接(特殊法人等で)学校デジタル図書館サービスを提供

学校デジタル図書館は、学校司書が肝になる

従来からの仕事

教科担当への支援、蔵書管理、図書の選書・購入、読書推進活動の企画・実施、図書館資料の選定・収集・紹介・提供などの支援

更なる仕事

デジタル教科書、教材と学校デジタル図書館内の電子書籍、統計資料、郷土資料を横断検索したり、学校デジタル図書館の資料をゲートウェイにしてWeb上の原資料へアクセスする方法など、多様なデジタル情報にアクセスするスキルを子供達に教えなければなりません。

しかし、現状は学校司書を取り巻く環境はあまりに疲弊しています。GIGAスクール構想や読書・学習・情報のセンターとしての「ラーニング・コモンズ」構想に、学校司書としてどう関わって行くか正念場になっています。緊急に学校司書の増員と文科省による学校司書のスキルアッププログラムの充実が必要です。

デジタル教科書と
学校デジタル図書館は
セットであるべき



 日本電子出版協会(JEPA)の提言

全国どの小中学校でも使える

「学校デジタル図書館」を

国主導でつくりましょう。

「学校デジタル図書館」が

いいねと思ったら、是非シェアしてください。

皆の力で子ども達に沢山の本を！

学校デジタル図書館サイトをシェアする



高等学校の図書館関係者へ

何故、学校デジタル図書館に高等学校を含めないのかと、ご質問を受けました。

義務教育は、国民が共通に身に付けるべき教育ですから、小中学校向け学校デジタル図書館は読者を制限しません。高校生もアクセスして読むことができます。一方で高等学校は、中学校と異なり色々な校風の学校があり、高校生が読むべき本は多様で、一般の大人が読む本と変わりません。教養本その他、専門書も必要でしょう。だとすると読む、読まないにかかわらず高等学校向け学校デジタル図書館は県立図書館並みの本を揃えなければなりません。高校生以外からのアクセスの制限や、義務教育費以外の財源も必要になります。不可能ではありませんが時間がかかります。むしろ先進的な高等学校であれば、内外の多くの大学で行っている大規模公開オンライン講座(MOOC)に参加したり、大学と連携して大学の電子図書館を利用させていただくのが良いのかもしれない。